



特集

# 宝物 *Treasure*

Special  
Edition

## ～マツカイ・松浦姉妹都市提携

## 20周年を迎えて～

松浦市とオーストラリア・マッケイ市一。  
両市が姉妹都市提携を結んでから、昨年で20周年を迎え、11月28日にはマッケイ・松浦姉妹都市提携20周年記念式典が開催されました。

今月号では、これまでの交流のあゆみや使節団員・訪問団員としてマッケイ市を訪れた人などの声を紹介しながら、市民にとってマッケイ・松浦姉妹都市提携がどのような意味を持つのかを探ってみました。





### マツカイ DATA

- 人 口 約 11 万人
- 面 積 約 7,261 平方キロメートル
- 平均気温 26.4 度
- 産 業 鉱業サポート、農業（サトウキビ）、漁業、畜産（牛肉）
- 特 産 品 砂糖、魚、鉱業器具
- 観光名所 ブランプトン島、リンデマン島（ウィットサンデー諸島の一部）、ヒルスバラ岬など



松浦の石炭火力発電所では、利用する石炭の約6割がオーストラリア産のものです。松浦が輸入している石炭の積み出し港がマツカイ市の近郊にあること、人口規模が似ていること（姉妹都市提携を結んだ当時のマツカイ市の人口2万3千人）から、旧松浦市とマツカイ市の間で姉妹都市提携の気運が高まり、協議を進めた結果、平成元年7月に姉妹都市提携調印を行いました。このとき、マツカイ市のジャードン市長は「両国の市民が理解を深め



### 軌跡

#### 石炭がもたらした縁

松浦の石炭火力発電所では、利用する石炭の約6割がオーストラリア産のものです。松浦が輸入している石炭の積み出し港がマツカイ市の近郊にあること、人口規模が似ていること（姉妹都市提携を結んだ当時のマツカイ市の人口2万3千人）から、旧松浦市とマツカイ市の間で姉妹都市提携の気運が高まり、協議を進めた結果、平成元年7月に姉妹都市提携調印を行いました。このとき、マツカイ市のジャードン市長は「両国の市民が理解を深め



平成3年からは青少年の交流が本格的に始まり、これまでにマツカイ市からは12回、延べ約2000人の子どもたちが本市を訪れ、本市からは16回、延べ約270人の子どもたちがマツカイ市を訪問しました。平成16年にはマツカイ・松浦姉妹都市提携15周年を記念して、マツカイ市内の植物園の一角に姉

#### 訪問団・使節団による 盛んな交流

平成2年9月、マツカイ市から最初の訪問団を受け入れてから、これまでにマツカイ市親善訪問団を11回、延べ約2000人を受け入れました。一方、本市からも市民親善訪問団を11回、延べ2500人を派遣しました。

することに姉妹都市交流の意義がある」、岩佐市長は「今日の調印は永く絶えることがない繁栄と幸福を互いの市民にもたらすことを希望します」とあいさつしました。

#### 姉妹都市提携20周年

平成21年11月28日、マツカイ・松浦姉妹都市提携20周年記念式典が開催されました。

市役所北玄関前には、本市とマツカイ市の姉妹都市提携20周年を記念してモニュメントが整備され、除幕式が行われました。

友広市長は「20周年の節目の記念として両市の繁栄と末永い友好親善を願いモニュメントを作製しました」、マツカイ市のコール・メング市長は「マツカイと松浦のとても強く固い友好関係を大切にしたい」とあいさつしました。

マツカイ市の市民訪問団を含む約150人は20周年を迎えたことをともに喜び、さらなる友好関係を築いていくことを誓いました。